

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	大塚地区	回数	第2回
日時	2021年9月26日（日） 13:30-16:30		
参加者数	25名		

## 1. 課題解決に向けた視点について

### 1) 追加すべき視点

子ども、高齢者、子育てお母さん、家族と考えると、「お父さん世代」の視点が抜けている。お父さん世代が地域で集まったり、交流できる場がないようにも思う。

- ・ 子ども、高齢者、子育てお母さん、家族で考えると、「お父さん世代」の視点が抜けている。お父さん世代が特に困っていることはないけれど、地域に集まったり交流できる場がないようにも思う。

一人では外出できない介護が必要な高齢者や障がいをもった方、彼らを支える家族の視点が抜けていると思う。バリアフリーやユニバーサルデザインなどを踏まえた施設ができるとうい。

- ・ 新しい視点として、一人では外出できない介護が必要な高齢者や、障害をもった方など弱者の視点が抜けていると思う。
- ・ 弱者本人だけでなく、介護や付き添いをする家族にも影響する視点だと思う。①～⑦いずれかの視点に加えてもいいし、新しい視点を起こしてもいい。
- ・ バリアフリー・ユニバーサルデザインの視点を盛り込むことが必要。またそういった視点をふまえた施設が出来るといい。

### 2) 視点ごとの意見（地区の課題とその解決策）

#### ① 多様な人々との交流

農家が高齢化して土地が余っている。空いた土地を利用してみんなで農作業をすることで、世代間交流や地域の活性化に繋がるのではないかな。

- ・ 農業の高齢化：ミカン農家の40代以上が8割。70代、80代が現役で働かれているが、規模縮小で土地が余り始めている。「みんなで一つの作物を作ろう！」プロジェクトはどうだろうか。年間を通じた交流が生まれる。地域としての活性化にもなるのではないかな。
- ・ 荒れている畑もたくさんあるのを目にする。空いている土地を利用して、みんなで農作業をするのは交流の機会になるといい。いろんな年代の交流ができるのではないかな。

大塚小学校では日常的に声かけ運動などを行っており、こういった運動が人の輪を増やし、多様な交流や安全安心につながる。多様な交流が可能となるような施設の再編やプログラムの構築が必要だ。

- ・ 大塚小では、日常的にあいさつや声掛け運動を行っている。こういった積極的なあいさつ運動を使って知っている人の輪を増やし多様な交流につなげていく。こういった運動は安全安心にもつながる活動である。このような多様な交流が可能となるような施設の集約、再編や、プログラムの構築が必要。

地区にある多様な施設の複合化により、住民の多様な交流につながるのではないか。

- ・ 地区にある多様な施設の複合化が、地区にいる人たちの多様な交流につながるのではないだろうか。

交流の拠点として公園は必要だ。施設の跡地を公園として利用することで多世代交流につながるのではないか。

- ・ 交流の拠点としての公園は必要ではないだろうか。
- ・ 児童館横で高齢者がゲートボールなどもされているが、跡地公園を利用することで多世代交流にもなるのではないか。

高校生、大学生世代の居場所がない。公民館などに彼らが来たくなるような空間やイベントがあり、他の世代と顔を合わせることが重要だと思う。

- ・ どの地域でもそうだが、高校生、大学生世代の居場所が地域にないので、あった方がよい。
- ・ 公民館などに高校生や大学生が来たくなる空間やイベントがあり、他の世代と顔を合わせることが重要だと思う。どうしたら高校生などが立ち寄りたくなるかを考えると、自習ができたり、図書館の本が借りられたり、職業や仕事について学べたり、といった活動が思い浮かぶ。

公民館は子どもや高齢者の利用が多いイメージがあるが、若者向けのイベントの実施や情報発信を行い、若い世代がもっと交流できる場所になるとよい。

- ・ 若い世代は地区公民館を利用しないが、大塚地区は地域のつながりが強く若い世代がもっと交流できる場所になるとよい。
- ・ 若い世代に公民館の使われ方や周知方法が疑問。子どもと高齢者利用が多いイメージ。現役世代が学ぶのは少ない。
- ・ 公民館では高齢の方向けの行事が多く、学生向けの学習スペースや体育委員が企画するイベントの実施により多様な世代の利用を図っていく。イベントの開催と参加には情報発信が大事である。

若い世代も立ち寄りやすい公民館とするために、新しい名称を若い世代に考えてもらったかどうか。

- ・ 若い世代が公民館を使いやすくするために、公民館の新しい名称を若者に考えてもらったらいんじゃないか。公共施設でありながらレジャー施設のような名前がつくと若者も立ち寄りやすいかもしれない。

職種や家庭環境、障がいの有無など、多様性のターゲットを想定しながら取り組むのが良いのではないか。

- ・ 職種間の多様性、家庭環境における多様性、障害を持った方の多様性を考えながら取り組みを考えていくとよいのでは（ターゲットを想定した取り組みの必要性）。

外国人が多いので、共生は考えていきたい。

- ・ 大塚地区は外国人が多いので、共生は考えていきたい。

公民館では多様な活動を行っているが、外国籍の参加者はいない。外国の方も読めるようなチラシにしたり、目で見えるような情報発信をすれば、情報が伝わるのではないか。

- ・ 公民館では、3B 体操（ボールとベルおよびベルターを使用する健康体操）も含め多様な活動を行っているが外国籍の方の参加はいないように思う。外国籍の方々は参加しにくいのだろうか？現在 3B 体操のメンバーは女性のみで構成されており男性はいない。年代は 70 代が多い。
- ・ 公民館やっている活動一覧表を外国の方も読めるように作ると情報が行きわたるのではないか。利用者交流もできる。
- ・ 外国籍の方は公民館のイベントも含めて情報が届いておらず知らない人が多いかも。チラシ等の紙媒体も日本語で記載されており、情報を読める人も少ない。外国籍の方は児童クラブ内のいこい会館や保育園、小学校には行く。
- ・ サークル活動の様子を動画等で撮影し、地域のケーブルテレビ等で常時発信するといいいのでは？外国籍の方には目で見ると理解しやすい。目で見える情報発信！
- ・ 情報は外国籍の方も読める様に「やさしい日本語」で書いてあるといい。

サークルへの参加は外国籍の方にはハードルが高いので、単発のセミナーが参加しやすいと思う。

- ・ サークルでの参加は外国籍の方にはハードルが高いので、単発のセミナーが参加しやすいと思う。

## ② 子育てしやすい環境づくり

低年齢児保育や延長保育は必要だ。大塚保育園は大塚西保育園と異なり、18時まで預けることができるので人気があるのだと思う。

- ・ 低年齢保育は絶対に必要。大塚西保育園が16時半に終わってしまうのは、なぜだろう？大塚保育園は18時すぎまでやっているために人気が出ているのだろう。

※ 事務局注釈：大塚保育園は午後6時まで延長保育を実施しています。

みどり保育園など人気のある保育園の人気の理由を調べるとよい。

- ・ この地域で人気のあるみどり保育園について、何が人気なのかをリサーチしてみるといいのでは？（子育てする環境、災害面での安全安心、保育方針など）
- ・ ちなみに豊橋では車で30分掛かっても通わせたい「むさしの幼稚園」がある。

保育園のお迎えの時間には駐車場がいっぱいになる。大塚西保育園周辺は踏切も狭いので気になる。

- ・ お迎え時間帯に駐車場いっぱい。西保育園周辺は踏切も狭いので気になる。

保育園は統合するのではなく、分散していた方がよい。小学校入学時に2保育園が合わさるというワクワク感もある。縦割り保育では年少から年長まで一緒に育つ利点もあり、様々な選択肢があってもよいのではないか。

- ・ 幼い子どもがいるが、保育園は統合するのではなく、分散しておいた方が個人的に良いと思う。年齢別のクラス編成ではなく、小規模ならではの年少から年長まで一緒に育つ利点もある。様々な選択肢があっても良いのではないか。
- ・ 小規模保育（多年齢が一緒に育つ）の教育効果もあると思う。分散も1つの案ではないか。選択肢を残すのも一案ではないだろうか。
- ・ 従来の（2つの保育園が小学校で一緒になって新しい出会いがある）ワクワク感も残したい。

小中一貫校の話が出ていたが、保育園や児童館も一体的に整備する必要がある。児童クラブ機能もあるとお迎えが楽でよい。

- ・ 小中一貫校の話もあるが、保育園や児童館も含めて一体的に整備する必要がある。
- ・ 一貫校や複合施設の計画があると聞くが、そこに児童クラブの機能もあるとお迎えが楽で良いと思う。これまで3人の子育てをしてきて、あちこちに迎えに行くのは大変だった。

### ③ 子ども達の居場所づくり

大塚地区には公園が少なく、子ども達の遊び場や居場所も少ないと思う。車を利用しなくても行ける距離に低年齢児も利用できるような遊び場が欲しい。

- ・ 大塚には公園が少なく、コロナ禍で遊具が使えなくなったりしている。子どもの遊び場や居場所が減ってきているように思う。
- ・ 大塚には公園が少なく、子どもの遊び場がないように思う。
- ・ 大塚の西地区は公園が少ない。車を利用しなくても行ける距離に低年齢児も利用できるような公園、遊び場が欲しい。
- ・ 以前はラグーナ横のグラウンドが使えたが、いまは使えなくなってしまう、伸び伸びとサッカーをやれる場所がなくなってしまった。

どんぐり公園があるが、利用者が限定されている。最終処分場の跡地を広い公園にするとよいのではないか。

- ・ どんぐり公園があるけども、集まって遊んでいる子が限定されている。最終処分場の跡地を広い公園にするとよいのではないか。

屋外で日陰のある遊び場が欲しい。子ども達だけで遊びに行かせるには人の目や交通の安全も必要だ。また、雨天時にも利用できるような屋根もついているとよい。

- ・ 屋外で日陰のある遊び場が欲しい。橘丘里山緑地公園がおすすめと聞いて行ってみてよかったが、周辺に人の目がないので、子どもたちだけで行かせるのは心配。
- ・ 海浜緑地は日陰も芝生も人目もあり、利用してみてよかった。参考になると思う。
- ・ 子どもたちが運動する場所、広場が少ない。コロナ禍もあり、なかなか集まれないが、特に雨天時の際に利用できる屋根付きの運動広場がない。
- ・ さがらの森の屋根付きの場所が海の方にもあるといい。
- ・ 海陽ヨットハーバーに 100 人程度収容できる大屋根施設（県の施設）が作られたので、利用できると思う。
- ・ ラグーナ周辺は 23 号を渡らないといけないので危険。

大塚と相楽の中間にある橘丘里山緑地公園は地域で管理して里山整備を行っている。

- ・ 大塚と相楽の中間あたりには橘丘里山緑地公園という里山林のある公園があって地域で里山整備も行っている。もともと戦後建てた橘住宅の跡地を地域で管理して公園として利用するようになった。

町内のお祭りや神楽、PTA 行事が減ってきている。子どもたちの交流を促す機会を提供していきたい。

- ・ 町内のお祭り・神楽の減少が進んでいる。PTA 行事も減ってきていると耳にしている。子どもたちの交流を促す機会を提供していきたい。

児童館は遊びの場なので、静かに過ごせる場所も提供してはどうか。

- ・ 児童館は遊びの場所なので、静かに過ごせる場所を提供する。

コロナ禍前は公民館のロビーが子ども達のたまり場になっていた。学校と家以外の居場所として、公民館を安心して集まれる場所、静かに落ち着ける場所として提供したい。

- ・ 以前、公民館のロビーが小学生の放課後の集会場（たまり場）になっていた。今はコロナ禍で遊ぶことができなくなった。学校と家以外の居場所として公民館を利用するのはどうか。静かに落ち着ける場所を提供したい。（自習・インターネット利用など）
- ・ 公民館で子ども達が安心して集まれる空間があるとよい。

学校を放課後に開放してもらえないだろうか。下校してから遊びに行くよりも、そのまま校内で活動する方が安全・安心だ。児童クラブも校内にあるとよい。

- ・ 学校は放課後開放してもらえないのだろうか？集団下校してから、どこかに遊びに行くということもあるが、帰宅せずに、そのまま学校に残って部活動などの活動をするというほうが安全・安心もできる。児童クラブも学校内にあるとよい。

#### ④ 生涯現役でいられる地域づくり

生涯現役のためには自分の趣味を持つことが大事だ。そのために公民館は重要な場である。

- ・ 生涯現役には自分の趣味を持つ事が大事で。そのために公民館活動は重要な場である。
- ・ 生涯教育の場を作っていく。

農業者はお年寄りでも元気だが、サラリーマンが定年後に身体を動かせる居場所が必要だと思う。農業の基盤整備をしっかりとし、退職後のサラリーマンで農業従事者の不足を補うなどしてはどうだろうか。

- ・ 農業者はお年寄りでも身体を動かしているから元気。問題は勤め人で、リタイヤ後に地域で身体を動かせる居場所を見つけられるかがポイントだと思う。
- ・ 定年されたサラリーマンが農業に就くなど農業従事者の不足を補う。
- ・ 農家は生涯現役である。そのためにも農家に対する基盤整備、農道整備等をしっかりする必要がある。

⑤ 安全・安心

下校時間が遅いと街灯の少ない道が暗くて心配だ。

- ・ 部活の帰りなど下校が遅い時間だと、街灯の少ない道は暗くて心配です。
- ・ 夜車に乗っていると、高校生の帰宅時間が遅いのが気になる。もっと早く帰れるようにできないものだろうか。
- ・ 街灯がすくなく暗い場所については区の役員にぜひ意見を出してほしい。市議を通して整備可能となる場合がある。

道が狭く、安全のために遠回りすることが多い。徒歩でも自転車でも安全に行き来できる街になるといい。

- ・ 大塚地区では道が狭く、安全のために広い道でも遠回りすることが多い。中学になっても自転車で移動せず徒歩で移動することも多い為、徒歩でも自転車でも安全に行き来できる街になるといい。

西大塚からの通学は小学校低学年には遠く、ガードレールも少ないため危険だ。低学年だけでも通学バスを走らせるなど考慮してもよいのではないか。

- ・ 西地区からの通学は小学校低学年には遠く、ガードレールが少なく危険。
- ・ 低学年児童だけでも通学バスを走らせるなど考慮してもよいのではないか。

ゲンキーや神明社の交差点など高校生の自転車のスピードが危険だと感じる場所がある。

- ・ 高校生の自転車のスピードが危険と感じる場所が2か所ある。(①ゲンキーの交差点②西大塚の神明社の交差点)

大塚金野線整備後の児童の通学や園児のお散歩が心配だ。もっと安全性の確保できるルートはなかったのだろうか。

- ・ 大塚金野線の整備など、大きいバイパス近くの児童の通学などが心配。
- ・ 大塚金野線の整備後、大塚保育園の園児のお散歩コースになるので心配。
- ・ 大塚金野線の場所について、もっと安全性の確保できるルートはないだろうか。もっと東よりの民家の少ないところに道路計画をしていただきたかった。

交通事故の抑止のため、狭い道では基本徐行をするなど、思いやり運転の意識を徹底するべきだ。

- ・ 交通事故の抑止（予測と防衛）を考えたい。狭い道では基本徐行をするなど、思いやり運転の意識づくりの徹底をするべき。
- ・ 例えば、私はブリジストンのドライビングレッスンでレーサーの中島悟さんの隣にらせていただいたことが、安全運転の意識向上の大きなきっかけだった。このような効果的な意識づくりを検討できるとよいのではないだろうか。

避難所となる学校は建物が古く、地震の際の安全性が心配だ。津波や高潮の心配もあるので、山側への移転も検討してはどうだろうか。

- ・ 現在の小中学校は高台にあるが、高潮の警戒区域にもなっているので、山手への移転も検討してはどうだろうか？津波、災害対策を考慮する必要がある。
- ※ 事務局注釈：学校そのものは津波・高潮のどちらの警戒区域にも含まれていませんが、学校敷地より一段下がった周辺には警戒区域となっている区域があります。
- ・ 災害時の避難場所になる小学校や中学校は建物が古くて地震の際に安全か心配である。また、津波や高潮の際には海岸近くに立地するので、やはり心配ではある。

最終処分場跡地の跡地活用として、災害時の避難所はどうか。

- ・ 最終処分場の跡地利用災害時の避難所に利用するなど検討していけばよいのでは。

保育園が老朽化しているので、小学校よりも先に解決したい。

- ・ 保育園の安全性。立地はよいが、老朽化している。小学校よりも先に解決したい。

## ⑥ 利便性の向上

公民館にオンライン会議ができるスペースや学生向けの学習スペースがあると、市の中心部まで出向く必要がなくなり、便利になる。

- ・ 公民館に、オンライン会議ができるコーナーがあると、中央の集まりに車で出かけて行かなくても、地区からオンライン参加ができると助かる人も多いと思う。
- ・ 図書館が駅のところで遠いので、公民館に学生向けの学習スペースがあると受験勉強等にも利用できて中高生の利用も広がる。



新しく整備する公民館には地域の情報が手に入るようなお知らせコーナーが欲しい。

- ・ 公民館の玄関を入ったロビーには、いろいろな地域情報が手に入るように様々なチラシやパンフが置かれたり、お知らせが掲示されたりする空間がほしい。大塚の公民館にはそうした空間が十分でない気がする。岡崎や豊橋の地区公民館には防災活動室などの地域活動や情報コーナーが充実していて、新しい公民館はそうになってほしい。

公民館のサークル活動で市外の先生を呼ぶ場合、利用申請は地区内の生徒が行っている。市民会館などでも同様なので不便だ。

- ・ 公民館では先生を市外から呼んで開催している趣味の教室などを行っているが、部屋は地区に住む生徒が申し込んでいる。市民会館など中央の施設で展示会等を開催する際にも、先生が市外なので申込できず生徒から申し込むことになったりするのが不便。

外国人向けの日本語教室を東大塚いこい会館で開催しているが、利用者が広域からくるので公民館や中央の施設で開催するのが適切だと思う。他の活動と利用が重なることもあり不便だ。

- ・ 外国人向けの日本語教室をひょんなことから上島集会所で開催されている。利用者が広域から来るので本来は地区公民館や中央の施設で活動するのが適切だと思うが、なぜか利用ができないようだ。上島集会所の高齢者いきいきサロンと利用が重なったりすることもあり不便である。

※ 事務局注釈：日本語教室は上島集会所ではなく、おおつか児童館に併設されている東大塚いこい会館で実施されています。

商業施設の誘致に取り組んでもよいのではないかと。一方で、渋滞や住民とのトラブルなどへの懸念もある。

- ・ 商業施設の誘致に取り組んでもよいのではないかと？同時に生じるデメリットやトラブルへの懸念がある。
- ・ 大型商業施設の誘致による交通渋滞を懸念する必要がある。近隣住民とのトラブルも考慮が必要だろう。

公共施設を考えるうえでアクセスのしやすさは大事だ。そのためには、くるりんバスの運行頻度やバス停の位置だけでなく、ネット予約の導入など新しいサービスも検討できるとよい。

- ・ くるりんバスの使い勝手を良くするなど、アクセスしやすいことが公共施設を考える上で大事だと思う。
- ・ 頻度やバス停以外にも、携帯で予約できたり、新しいサービスの可能性も検討できるとよいのではないだろうか。

地域の魅力は感じているが、車がないと移動できない。くるりんバスの充実など基礎インフラを向上させたい。児童の登校などにも利用できるのではないか。

- ・ 地域の魅力はあるが、車でないと移動できない。
- ・ くるりんバスの充実を！デイケアセンター（東部病院）などへも行きやすくなる。
- ・ 朝の児童の送迎などにも利用できるようになるのではないか。
- ・ 交通の便や買い物などの基本部分・基礎インフラを向上したい。電車は普通しか止まらない（各駅停車しか止まらない）。ラグーナもあるし、見直してもよいのでは？

#### ⑦ 効率的な施設配置

西大塚の方は施設が遠く不便な面が多いのではないか。小学校は地域の真ん中に整備するなど、大塚地区全体の中で利用しやすい場所に施設を整備できるとよい。

- ・ 西大塚地域に住む人は小中学校が遠くなってしまう。ラグーナの北側くらいに住んでいた友人は三谷小学校に越境で通っていた。近年、ラグーナ前の西端エリアに新しい家が増えて新しい人々が増えている気がする。せめて小学校は大塚地域の真ん中あたりにあるとよい。
- ・ 西大塚の方は不便な面が多いのではないか。大塚地区全体の中で利用しやすい場所（中央部分とか）に整備できるといい。

## 2. その他

### 1) 施設に関するご意見

#### ■ 学校について

大塚は保育園から中学校まで同じコミュニティのため、仲が深まるというメリットもあるが、小中一貫校にすると、子どもの交友関係が限られてしまうし、いじめなどがあった場合、逃げ道がなくなってしまうのではないか。クラス替えなどで空気を変えることも大切だ。

- ・ 大塚は保育園から中学校まで同じコミュニティ。それは強い仲間意識、仲が深まるメリットもあるが、子供のころ、部活動などを通じて他地区では多様な人がいることを知った。一貫校にすると、仲良くできる反面、井の中の蛙になる可能性もあるのではないか。
- ・ 一貫校にすることで、つまらない子どもの交友関係になる可能性がある。スクールカーストの固定やいじめなどの問題も年齢とともに続いてしまうのでは？逃げ道がなくなってしまう。学校教育においては、クラス変更など空気を変えることも大切。風通しの良いコミュニティを！

#### ■ 公民館について

公民館は今の位置が地区内のバランスが良くよいが、使われ方に工夫が必要だ。

- ・ 公民館は今の位置が地区内でのバランスもよいが、使われ方に工夫が必要。

#### ■ 保育園について

新しく保育園を整備するなら、休耕地や竹林を活用した特色のある保育園にした方がよい。

- ・ 新しく保育園を整備するなら、他のどこにもないような特色のある保育園にした方がよい。  
(例) 大塚地区では休耕地や竹林を使って子育てに生かすといいのではないか。

保育園は老朽化しており、2園から1園にすることは理解できるが、地区の配置バランスを考え、新たな場所に敷地を広くして建替えたほうがよい。保育園の再編に伴い、小中学校や公民館も含めて一体的に整備するとよいのではないか。

- ・ 保育園は現状で老朽化しており、ランドデザインにあるように現在の2園から1園にすることは理解できる。ただ設置場所は現在の保育園の場所のどちらかに設置するのではなく、地区の配置バランスも考え新たな場所に敷地を広くして建替えたほうがよい。また、保育園の再編に伴い、小、中学校や公民館も含めて一体的に整備を図ると良いのではないか。

## 2) まちづくりについて

今後の大塚金野線の整備に伴い、農業基盤の整備や公共施設の再配置を含めたまちづくりができないか。現在の敷地は宅地化などを検討してもよい。

- ・ 将来整備されるであろう大塚金野線の整備に伴い、農業基盤整備と合わせ公共施設（小中学校、保育園、児童館等の集約）を含めたまちづくりを行うことができないか？
- ・ 公共施設の集約により、現在の敷地の使い道としては宅地化などを含めて考えていくのもよい。

若者にグランピングなどアスレチックな趣味が流行している。山や海など自然を生かした地域づくりを行うことで、若者の定住促進や移住につながる。目の前に海があるのに、海関係のものが何もない。

- ・ 18歳から25歳など若者にグランピングやボルダリング、アスレチックな趣味（スケボなど）が流行中。山や海などの自然を生かした地域づくりを！若者の定住や移住促進にもつながる。目の前に海があるのに、海関係のものが何もない。

## 3) ワークショップ・計画策定の進め方について

人口減少を前提とした計画となっているが、減少ばかりの考え方ではさみしい。人口を増やすなどプラスのイメージを持った計画も考えていきたい。

- ・ 基本的には人口減少を前提とした計画となっているが、減少ばかりの考えではさみしい。人口誘致など人口を増やすなどのプラスイメージを持った計画も考えていきたい。

施設ごとにランドデザインの説明があったが、それらを総合的に考えたランドデザインはないのか。

- ・ 各施設ごとにランドデザインの説明があったが、それらを総合的に考えたランドデザインはないのか。

子育て世代の生の声をワークショップにつなげたい。意見を拾う場を持ってほしい。

- ・ 現役の子育て中の親御さんの生の声をワークショップに繋げたい。意見を拾う場を持ってほしい。

「②子育てしやすい環境づくり」「③子ども達の居場所づくり」という2つの項目を重点項目として評価するのがよい。子育てしやすい地域になることで、若い家族世帯が増えれば地域が活性化し、高齢者もいきいきする。

- ・ この「②子育てしやすい環境づくり」「③子ども達の居場所づくり」という2つの項目を重点項目として評価するのがよい。子育てしやすい地域になることで、若い家族世帯が増えて地域が活性化するようにしたい。若い世帯が増えれば、高齢者もいきいき喜ぶ。

### 3. 質問

小中一貫校の内容を詳しく知りたい。単に敷地が同じになる、とはどのような違いがあるのか。保護者同士で話している中ではあまり必要性を感じたことがないので、メリットデメリットについて話を聞きたい。

- ・ 小中一貫校の中身をもっと詳しく知りたい。敷地が一緒になるだけとはどういう違いがあるか？保護者間で話している中では、あまり必要性を感じたことがないので、もう少し中味やメリットデメリットを聞きたい。